

2月に入りましたね。暦の上ではもう春ですが、まだまだ厳しい寒さは続きます。

今月号は、バレンタインデーにちなんでチョコレート特集です。いまだ知らないチョコレートの魅力に気付けるかもしれませんよ？



『毒入りチョコレート事件』 アンソニー・バークリー 作 高橋泰邦 訳

チョコレートがメインとなっている小説は恋愛小説だけだと思いませんか？

ロジャー・シェリングラムが設立した「犯罪研究会」は、警察から送られてきた迷宮入り寸前となっている殺人事件に挑むこととなった……。その事件とは、新製品という触れ込みのチョコレートの試食に毒が仕込まれていたというもの。事件の真相は如何に？ロジャーたちは事件の真相にたどり着くことができるのか？



『チョコレート検定 公式テキスト 2022年版』

株式会社 明治チョコレート検定委員会 監修

チョコレートの検定があることを知っていますか？チョコレートに関する様々な知識が身につく検定です。チョコレートのことを知ってもらうため、株式会社明治が2016年より実施しています。チョコレートが好きならどなたでも受検でき、合格者には、「チョコレートスペシャリスト」、「チョコレートエキスパート」、「チョコレートプロフェッショナル」の認定証が進呈されます。

本書は、その検定対策の本になっています。



『チョコレート・アンダーグラウンド』 アレックス・シアラー 作 金原瑞人 訳

チョコレートが禁止された！砂糖も甘味料も禁止！そんな世界であなたは生きていけるでしょうか。この本を読めばチョコレートが今すぐ食べたくなるでしょう。

甘いものが禁止された国で、ハントリーとスマッジャーは革命を起こします。癖の強めな人たちと一緒に健全健康党を打ち倒す二人の勇姿をお楽しみください！

「スマッジャーとハントリーはここに来た。苦難の時代に」

「おれたちはチョコレート大戦争の兵士。子供たちの自由のために戦った。おれたちのことを忘れないでくれ。そしていつの日か、チョコレートがふたたび姿を現したら、おれたちのことを思い出しながら、チョコレートバーを一本食ってくれ」



『アーモンド入りチョコレートのワルツ』 森絵都 作

ピアノ教室に突如現れたフランス人、通称「サティのおじさん」によって、いつもと一味違う日常を送ることとなる私と友人の物語である「アーモンド入りチョコレートのワルツ」、小中学生5人の夏の思い出を描いた「子供は眠る」、不眠症の少年と虚言癖のある少女の淡い恋を綴った「彼女のアリア」の3つの物語で構成された短編集。

クラシックの曲名がそのまま題名となっているため、その曲を聴きながら読むと、より物語の世界感を味わうことができるはず！

どうでしたか？気になる本は見つかりましたか？今月はチョコレートに関する本の紹介をしました。気になる本があればぜひ図書館まで足を運んでみてください。